

## 輪島中学校環境衛生管理等業務仕様書

この業務は、建築物における衛生的環境の確保に関する法律（昭和45年法律第20号）第6条第1項に規定する建築物衛生管理技術者を選任し、輪島中学校における環境衛生上の維持管理業務の全般的な監督を行うとともに、中学校の室内環境を常に良好な状態に保つため、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、同法施行令（昭和45年政令304号）、同法施行規則（昭和46年厚生省令第2号）及び空気調和設備等の維持管理及び清掃等に係る技術上の基準（平成15年厚生労働省告示第109号）等関係規定に基づき、空気環境測定等の業務を実施するものとする。

### 1. 対象施設

名 称	輪島中学校		
住 所	輪島市河井町11部39番地1		
構 造 等	校舎棟	鉄筋コンクリート造	3階建
	屋内運動場棟	鉄骨造	2階建
	武道場	鉄骨造	平屋建
	全天候広場	鉄骨造	2階建
延床面積	校舎棟	8,490.45㎡	
	屋内運動場棟	3,786.76㎡	
	武道場	526.18㎡	
	全天候広場	1,369.11㎡	
	合 計	14,172.50㎡	

### 2. 履行期間

令和8年10月から令和11年9月まで（36か月）

### 3. 業務内容

#### （1）建築物環境衛生管理技術者の選任

受注者職員より建築物環境衛生管理技術者免状を有するものを選任し、施設管理担当者の承諾を受けた後、速やかに関係機関への選任届を提出すること。

#### （2）建築物環境衛生管理技術者の業務

- ・建築物の環境衛生管理業務計画の立案
- ・建築物の維持管理業務の指揮監督
- ・建築物環境衛生管理基準に基づく測定・検査・調査の実施と結果の評価
- ・その他、環境衛生管理業務に関する事項の発注者への協力

### (3) 空気環境測定業務

- ・ 2 か月に 1 回実施すること。
- ・ 測定点は 1 回につき計 3 地点とする。  
なお、測定地点については、実施ごとにあらかじめ施設管理担当者に確認すること。
- ・ 測定回数は 1 地点につき 1 日 2 回実施すること。
- ・ 実施後は、速やかに結果報告書を提出すること。

### (4) 水質検査

- ・ 検査項目等は次のとおりとする。
  - ア) 一般細菌等                    1 3 項目 (6 か月に 1 回実施)
  - イ) 鉛等                            4 項目 (6 か月に 1 回実施)
  - ウ) 消毒副生成物                1 6 項目 (年 1 回実施)
- ・ 採取場所は、給水栓の末端で行うこと。
- ・ 採取作業にあたっては、消毒した専用容器を使用するなど、除菌・滅菌に留意すること。
- ・ 実施後は、速やかに結果報告書を提出すること。

### (5) 貯水槽等の管理

設備概要    受水槽            1 8 . 0 t

点検業務    月 1 回の点検を行う (清掃月を除く)

- ・ 設備の外観点検等 (水槽等の外観点検や、その周辺状況の点検及び貯水槽内の点検)
- ・ 付属設備点検 (動作確認等の検査)

清掃業務    年に 1 回清掃を行うこと。

- ・ 作業にあたっては消毒のうえ衛生的に行うようにすること。
- ・ 貯水槽内は照明換気を行い事故防止に努めること。
- ・ 水張り後終了後、給水栓及び貯水槽内の水について、(4)の水質検査及び残留塩素の測定を行うこと。
- ・ 実施後は、速やかに作業写真を添付のうえ、結果報告書を提出すること。
- ・ 簡易専用水道検査 (年 1 回) のための書類を作成し、提出すること。

### (6) 清掃

- ・ 清掃内容は次のとおりとする。
  - ア) 空調機フィルター清掃                    1 年に 2 回
  - イ) 繊維床クリーニング                    1 年に 1 回
  - ウ) ガラス清掃 (内外)                    1 年に 1 回
  - エ) グリストラップ清掃                    1 年に 2 回
  - オ) 排水管洗浄 (50m 程度)                    1 年に 1 回
- ・ 作業においては、休業中の午前 8 時 3 0 分から午後 5 時までの時間帯に行うこと。
- ・ 各清掃は別添の図を参考とする。
- ・ ガラス清掃において、高所による作業があるため、作業用の機材等を念入りに準備するとともに、

作業員の安全対策に関しては、特に配慮すること。

- ・実施後は、速やかに作業写真を添付のうえ、結果報告書を提出すること。

#### (7) ねずみ昆虫等防除

- ・6か月に1回実施すること。
- ・対象となる部分は全館及び別棟とする。
- ・防除のための薬剤等散布及び設置には、安全確保と法令許可済みの薬剤等を使用すること。
- ・実施後は、速やかに作業写真を添付のうえ、結果報告書を提出すること。

#### (8) 消防設備の点検

- ・消防法、同法施行規則並びに同法施行令に基づく消防設備等の点検業務（機器及び総合点検）
  - ア) 輪島市立輪島中学校消防設備の点検
  - イ) その他保守点検
- ・消防設備等に異常及び故障が発生した場合の対応（原因調査、応急復旧、応急対策）
- ・点検整備に先立ち、業務計画書（業務体制表、実施工程表、点検要領等）を作成し担当係員の承諾を受けること。
- ・消防用設備等の点検要領は消防法の点検基準及び点検表に基づくこと。簡易な調整及び修理については、本業務とする。
- ・関係法令等に従い適切に点検を行い、安全及び災害防止に努めること。
- ・点検の際には、ヘルメットを着用するなどの安全対策を行うこと。
- ・消防法に基づく点検記録書類及び点検作業記録写真等をファイルに綴じ込み製本として1部提出すること。
- ・緊急時及び故障時に技術員の派遣要請を求めた時は速やかに応じ応急処置、応急復旧を行うと共に原因を調査し施設担当者に報告すること。なお、この場合の経費については、機材は発注者の負担とし、労務費については受託者の負担とする。
- ・点検業務に必要な官公署への諸願申請に要する経費は、受注者の負担とする。

#### 4. その他

- ・業務実施日時はあらかじめ施設管理担当者と協議すること。
- ・委託のすべて、または大部分を一括して第三者に委託したり、請負わせてはならない。
- ・業務中に建造物、器物（第三者の所有にかかる展示物等を含む。）を破損等したときは、直ちに施設管理担当者に報告しなければならない。この場合、受注者の責めに帰すべき事由により生じた損害については、受注者の負担により原状回復又はその損害を賠償しなければならない。  
また、第三者に損害を与えた場合も同様とする。
- ・校舎等の各材質の特性を十分検討のうえ、最適の清掃資材を使用すること。
- ・作業の厳選はもとより、日常の訓練にも留意して業務を行うこと。
- ・使用した鍵は慎重に取り扱い、業務を遂行するために必要な時間と場所に限って使用すること。
- ・水道、電力の使用については、必要最低限にとどめ、特に照明は作業終了後直ちに消灯すること。